

講義コード	11C0110600	授業形態	講義	事前登録の有無	あり	担当教員	川久保 浩志	開講期	第1期																
科目名	音楽の世界																								
履修前提条件					備考																				
授業の目的	「芸術は長く、人生は短し (Ars longa, vita brebis)」。この言葉は古代ギリシャの医師ヒポクラテスが医術について述べた言葉であるが、現在では「人の命は短くはかないが、優れた芸術作品は永遠に残る」と解釈される。その証拠に、世界中どこかのオペラハウスのシーズンプログラムを見ても、W.A. モーツァルトのオペラ作品が必ず一つは組まれていることが分る。それはこの18世紀の作曲家の作品が、時を経てもなお世界中の人々から愛されているからである。本講義は前記をふまえ、優れた音楽芸術作品にふれてもらうことで、豊かな人生を送るための一つの指針となることを目的とする。																								
到達目標	商業ベースにのせられ、サブカルチャーとして存在しがちな音楽であるが、本講義を受講し、実生活と密着した音楽の様々な社会性を学ぶことで、音楽に自ら深く積極的に探究していくことができる。																								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	この科目では60時間の授業外学修をおこなうこと。授業外学修では、講義中書き取ったノートの整理を毎回行うこと。また出題する学習課題に取りくむこと。課題はその都度告知する。																								
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>【第1回】 音楽の起源</td> <td>【第9回】 シルクロードと雅楽の源流</td> </tr> <tr> <td>【第2回】 音楽の機能</td> <td>【第10回】 第1回レポート作成</td> </tr> <tr> <td>【第3回】 音楽の機能 (2)</td> <td>【第11回】 時を超えて伝播した音楽芸術2 「W.A. モーツァルト」</td> </tr> <tr> <td>【第4回】 音楽の機能 (3)</td> <td>【第12回】 時を超えて伝播した音楽芸術2 「W.A. モーツァルト」(2)</td> </tr> <tr> <td>【第5回】 音楽の機能 (4)</td> <td>【第13回】 時を超えて伝播した音楽芸術2 「W.A. モーツァルト」(3)</td> </tr> <tr> <td>【第6回】 時を超えて伝播した音楽芸術1「雅楽」</td> <td>【第14回】 第2回レポート作成</td> </tr> <tr> <td>【第7回】 時を超えて伝播した音楽芸術1「雅楽」(2)</td> <td>【第15回】 まとめ</td> </tr> <tr> <td>【第8回】 韓国「国楽」、ヴェトナム「ニャーニャク」、沖縄「御座楽」</td> <td></td> </tr> </table>									【第1回】 音楽の起源	【第9回】 シルクロードと雅楽の源流	【第2回】 音楽の機能	【第10回】 第1回レポート作成	【第3回】 音楽の機能 (2)	【第11回】 時を超えて伝播した音楽芸術2 「W.A. モーツァルト」	【第4回】 音楽の機能 (3)	【第12回】 時を超えて伝播した音楽芸術2 「W.A. モーツァルト」(2)	【第5回】 音楽の機能 (4)	【第13回】 時を超えて伝播した音楽芸術2 「W.A. モーツァルト」(3)	【第6回】 時を超えて伝播した音楽芸術1「雅楽」	【第14回】 第2回レポート作成	【第7回】 時を超えて伝播した音楽芸術1「雅楽」(2)	【第15回】 まとめ	【第8回】 韓国「国楽」、ヴェトナム「ニャーニャク」、沖縄「御座楽」	
【第1回】 音楽の起源	【第9回】 シルクロードと雅楽の源流																								
【第2回】 音楽の機能	【第10回】 第1回レポート作成																								
【第3回】 音楽の機能 (2)	【第11回】 時を超えて伝播した音楽芸術2 「W.A. モーツァルト」																								
【第4回】 音楽の機能 (3)	【第12回】 時を超えて伝播した音楽芸術2 「W.A. モーツァルト」(2)																								
【第5回】 音楽の機能 (4)	【第13回】 時を超えて伝播した音楽芸術2 「W.A. モーツァルト」(3)																								
【第6回】 時を超えて伝播した音楽芸術1「雅楽」	【第14回】 第2回レポート作成																								
【第7回】 時を超えて伝播した音楽芸術1「雅楽」(2)	【第15回】 まとめ																								
【第8回】 韓国「国楽」、ヴェトナム「ニャーニャク」、沖縄「御座楽」																									
成績評価の方法	授業内で作成する2回のレポート(100%)で評価する。																								
フィードバックの内容	レポートに対する総括したコメントをwebClassの掲示板にアップする。																								
教科書																									
指定図書																									
参考書																									
教員からのお知らせ	授業に毎回出席しないとレポートは書けません。教科書は使用しませんが、講義内容に合ったレジュメを配布します。参考書は使用しませんが、視聴覚資料を多く用いて参考とします。授業の性質上、授業中皆さんに、講義内容に関しての実習へ参加を促す場合があります。その際には積極的にご参加ください。																								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。 また、メールによる質問も受け付けます。 E-mail : kawakubo@f4.dion.ne.jp																								
その他	芸名:川久保博史。テノール歌手。東京藝術大学大学院修了。イタリア、バルマ音楽学院留学。年間多数のオペラ、コンサートなどに出演。藤原歌劇団団員。趣味:古代コイン収集。																								